

2024 年度データサイエンスプログラム 自己点検・評価報告書

神戸女学院大学
データサイエンスプログラム運営委員会

【中期目標・計画】

データサイエンスプログラムの整備と拡充

【2021 年度～2025 年度 中期目標と計画案】

2021 年度～2025 年度にかけての計画案		達成予定年度
計画案 1	文部科学省、数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）へ申請し、認定を取得する。	2023 年度
計画案 2	本プログラムの適切な運用と、その成果に基づく改善。	2025 年度
計画案 3	本プログラムの履修者数・履修率の向上のための取り組み。	2025 年度
計画案 4	数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度（応用基礎レベル）を視野に入れた、本プログラムのさらなる拡充施策の検討。	2025 年度

【2024 年度の自己点検・評価】

計画 1	これまで未整備であったプログラム修了を認定する手続きを明確にし、プログラム 1 期生の卒業時の認定に備える。また、「データサイエンス入門」の 2023 年度の履修者に実施したアンケートでは、授業に対する意見・提言をより詳細に尋ねる質問項目を追加した。本年度は、これらの情報を基にして授業の更なる改善を行う。
	データサイエンスプログラムの第 1 期生は、卒業年度である今年度の後期登録時まで成績通知書のコピーを提出することとなっており、その後データサイエンスプログラム運営委員会で認定することとなっているが、その手続きの詳細はまだ定まっていない。データサイエンス入門の授業に関しては、「もっと話し合いの時間を増やし」た方がよいという意見も考慮し、グループディスカッションの機会を増やした。
	活動評価: C

計画 2	<p>「データサイエンス入門」の 2023 年度の履修者に実施したアンケートでは、新たに本プログラムを認知した手段・時期や、履修動機等の質問項目も追加した。本年度は、これらの情報を基にして履修者数・履修率の向上に向けた施策を検討する。</p>
	<p>アンケートより、データサイエンス入門履修者の半数以上が 1 年後 期の履修登録期以降にプログラムの存在を認知していることから、より早期からの認知度を高めるために、以下 の施策を行った。 1) プログラムのホームページをリニューアルし、大学公式サイト内に配置した。 2) ポスターを作成し、教務課、各学部事務室、情報処理センターの掲示板で掲示した。 3) 1 年前期必修科目の IT 基礎演習の授業内で、2) のポスターを配布して広報した。その結果、データサイエンス入門の履修者は前年度の 22 名に対し、41 名と大幅に増加した。また、プログラム修了の促進のために、データサイエンス入門の単 位修得学生に履修促進のメールを個別に送信した。</p>
	活動評価: A
計画 3	<p>本プログラムの選択科目として、機械学習を実践的に学ぶ演習科目を追加して、一部、応用基礎レベルに踏み込んだ内容を学習できるようにするとともに、選択科目の幅を広げて、本プログラムをより履修しやすくすることを目指す。</p>
	<p>機械学習など、さまざまなデータ分析を実践的に学ぶ演習科目であるデータサイエンス演習をプログラムに追加し、文部科学省に届け出た。また、履修しやすさの一助とするために、カリキュラムマップ/カリキュラムツリーを作成し、ホームページ上で公開した。</p>
	活動評価: A
計画 4	<p>応用基礎レベルの数理・データサイエンス・A I 教育プログラムのために、データサイエンス関係のカリキュラムの全学的な体制を検討するため、データサイエンスカリキュラムを擁する生命環境学部との協議を開始する。</p>
	<p>応用基礎レベルの申請に向けて生命環境学部と協議を行い、まず 大学全体の授業内容をまとめる必要があることを確認した。ただ、生命環境学部で開講されるデータサイエンス関連授業については、生命環境データサイエンス応用が 2025 年度から開講されるという状況にあるため、本科目の授業内容の確定（シラバスの完成）を待った上で、その内容を踏まえ、今年度あらためて具体的な検討・協議に入ることとした。</p>
	活動評価: B